



こくろうよなご

第11号

2026年1月25日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

特別金利定期預金 会員とそのご家族限定

とことん定期W ウィンター

期限 期間限定

取扱期間：2025/12/1日～2026/2/27日

上乗せ金利の今がチャンス!

店頭での新お預入れで
お預入期間に応じた **特別金利** を適用!

お預入期間	お預入期間	お預入期間
1年	3年	5年
0.40%	0.55%	0.70%

定期預金適用金利(上乗せ金利を含む)

※対象の定期預金は「スーパー定期」です。 ※特別金利は毎週見直しを行います。
※金利は店頭掲示の通り(国の金利変動等により)予告なく変更する場合があります。
※金利は店頭掲示の通り(国の金利変動等により)予告なく変更する場合があります。

中国ろうきん

フィッシング詐欺などの金融犯罪にご注意ください!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



米子地方本部は、10時から事務所に「伯備線触車事故追悼集会」を開催、中央本部の宮崎委員長より講演を頂き、職協より報告を受けてきました。(集会の内容は、次号にて掲載予定)

午後からは、事故が発生した13時18分に合わせて、根雨の安全碑前にて西労組米子地方本部との合同による「献花式」を執り行いました。

国労からは西日本本

部の植田委員長、米子地方本部の倉下委員長が「安全の誓い」を述べ、その後、式典の参列者全員による献花を行い、「伯備線事故の反省と教訓を継承し、安全・安心なJR職場を作るために、日々奮闘していく」決意を新たにしました。

伯備線事故を前に、今年も各職場でも研修が行われましたが、今回初めて耳する話もあり、「20年経過しても実はまだまだ知らないこともある」のだと感じました。

伯備線事故により、失

1月24日、3名の尊い生命が奪われた「伯備線触車事故」から20年目の日を迎えました。改めて事故を振り返り、JR職場の安全課題について考えあつてきました。

伯備線触車死亡事故・追悼の日

伯備線事故実相へのこだわり!

何故事故を防ぐことが出来なかったのかについて、こだわり続けたと思います。



編集後記

組合員の高齢化が進み、自身の健康の話はもとより、親の介護の苦労話を聞く機会も増えたような気がしている。

だんだんと手が離れていく育児とはまた違って、場合によっては年々負担が大きくなる介護は、身体的にばかりでなく精神的にきついくともあると察する。

介護を巡って不幸な事件も後を絶たない。介護離職が社会的な課題となり、育児・介護にかかわる法律・会社の制度も何度か改正されている。

だれもが何時経験するかもしれない介護問題、皆が自分毎として考えあいたい。

真冬でも思いは熱く!

去る1月17日、衆議院選挙対策会議を開催しました。

1月23日に開会する通常国会冒頭、高市首相が解散・総選挙を宣言する意向であることが報道される中、リモート併用しながら緊急ではありましたが、会議を招集する事になりました。

会議に先立ち倉下委員長より「報道などで言われているように国会冒頭での解散なら、物価高で苦しい生活を余儀なくされている国民への背信行為である」と言わざるを得ない。放漫財政と台湾有事を巡る発言・非核3原則の見直しへの言及など、維新と組んだ高市政権の右傾化に歯止めが掛からない。一方、総選挙を前に立憲民主党と

公明党が新党『中道改革連合』を立ちあげた。このような情勢で闘われる今総選挙、地本執行委員会として、中道改革連合を支持し、引き続き○島根県第一選挙区では亀井亜紀子氏○島根県第二選挙区では大塚聡子氏○鳥取県第二選挙区では湯原俊二氏の推薦を決定した。議論の機会が殆どとれず、組合員の中には少なからず戸惑いもあると思うが、高市自維連立政権の過半数獲得を絶対に阻止するために全力で闘いぬこうと挨拶がありました。

その後、島根・鳥取両県の選挙情勢についての認識の一致を図り、倉下選対委員長をはじめとした選挙対策委員会の発足を確認し、各地区に設けられる選挙

戦後最短・真冬の選挙戦、思いは熱く! 全機関・全組合員の総決起を要請します。